庄内食の都 おいしい米づくり情報

2025/07/28

第11号　出穂以降の水管理編

庄内総合支庁　農業技術普及課
Tel. 0235-64-2103

「はえぬき」「雪若丸」は**出穂し始めました**。「つや姫」も**まもなく出穂**です。今後も**暑さ**が続く見込みです。今は稲の一生で最も水を必要とする**花水**、そしてその後は**間断灌水**を徹底！

＜気象及び生育の状況＞

鶴岡アメダスの6月28日から7月27日までの30日間での降雨は、7月16日の5mmのみで、この間の平均気温は、27.0℃と平年より**3.6℃高く**、日照時間は平年比**163％**、降水量は同**2％**、と、これまでにない高温多照少雨となっています。

このような気象の中、生育は進み作柄診断圃の出穂期の予想は、平年より**1～3日早く**、記憶に新しい高温登熟年の**令和5年並み**です。移植の早い「はえぬき」「雪若丸」は出穂期に達している圃場もあり、晩生の「つや姫」ももうすぐ出穂です。

表1　作柄診断圃の出穂期

品種	場所	年　次	移植	出穂期
はえぬき移植	鶴岡市矢馳	本年(R7)	5月18日	(7月30日)
		前年(R6)	5月15日	8月1日
		令和5年	5月15日	7月29日
		平　年	5月16日	7月31日
つや姫移植	鶴岡市上清水	本年(R7)	5月13日	(8月4日)
		前年(R6)	5月12日	8月6日
		令和5年	5月12日	8月4日
		平　年	5月12日	8月5日
雪若丸移植	鶴岡市長沼	本年(R7)	5月10日	(7月30日)
		前年(R6)	5月12日	8月2日
		令和5年	5月12日	8月2日
		平　年	5月12日	8月2日

※本年:7/28見込み　平年:2020～2024年の5か年平均

＜当面の技術対策＞

1　メリハリのある水管理で稲体活力の維持・登熟促進

2週間予報、1か月予報とも今後も**気温が高い**予報で、河川の水も少なくなっています。用水の使用が集中すると、水がかかりにくい圃場が出てくる恐れがあり、地域の番水計画や圃場ごとの生育状況を踏まえ、用水を地域内で効率的・効果的に活用し、**地域全域にいきわたるよう配慮**しましょう。

メリハリのある水管理を徹底し、品質向上、収量向上につなげましょう。

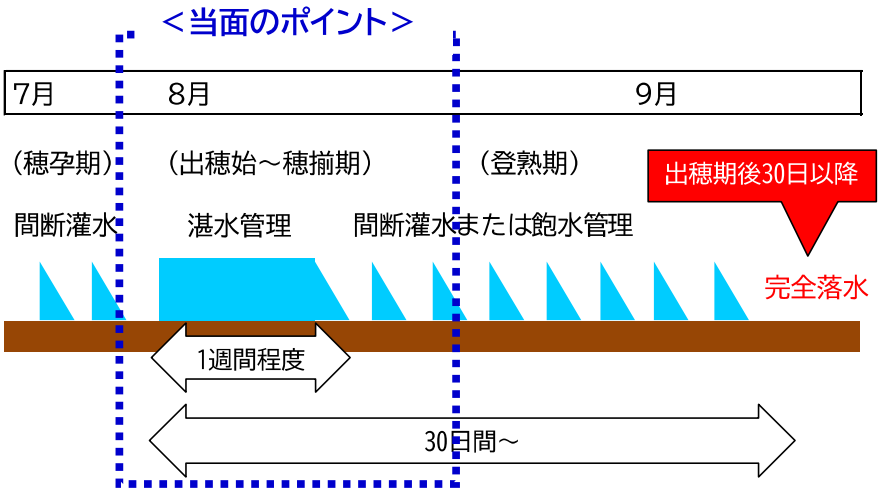
①出穂始から穂揃期にかけては花水

稲は出穂・開花の時に多くの水を必要とします。この時期の水不足は、穂の出すくみや不稔籾の原因となります。出穂始めから穂揃期までは水深2～3cmの湛水状態を保ちましょう。

②穂揃期後から出穂後30日頃までは間断灌水・飽水管理

登熟能力を支えるのは葉と根の活力であり、根は適度な水分と酸素を必要とします。そのために、間断灌水または飽水管理を行いましょう。

湛水したままでは**根傷み**や**根腐れ**が生じ、特に高温時は長い時間高水温にさらされることになり、根のダメージがさらに大きくなります。**湛水しっぱなし**は**絶対に避けましょう**。



田面は露出していても、足跡に水がしみ出してくれば OK。

③強風時は一時的に深めの水管理

フェーン現象や台風による強風は、稲体水分を低下させ、白穂や茶米の発生を招きます。強風時は、稲体の水分低下・消耗を防ぐために**一時的に水深3～5cm** の湛水状態としましょう。その後は必ず間断灌水または飽水管理に戻しましょう。

＜フェーン現象＞

④刈り取りに向けた準備

出穂以降も高温が予想されることから、出穂が早い以上に**刈り取りが早く**なります。表2の通り、「スマートつや姫」の生育予測でも、「はえぬき」「雪若丸」の 5 月 10 日移植では 7 月中に出穂し、9 月早々に刈り取り開始となります。特に「はえぬき」「雪若丸」では高温登熟による**刈取適期積算気温 50℃前倒し**も適用となり9月1日、2日とかなり早くなります。品種ごとに適期内に刈り取れるよう、収穫機械や作業場の準備を**計画的に**進めましょう。

表2 【「スマートつや姫適期作業カレンダー」による生育の予測】

移植時期	予測出穂期			刈取開始予測		
	はえぬき	雪若丸	つや姫	はえぬき	雪若丸	つや姫
5月10日	7月28日	7月29日	8月2日	9月1日※	9月2日※	9月9日※
5月15日	7月29日	7月30日	8月3日	9月2日※	9月3日※	9月12日
5月20日	8月1日	8月2日	8月7日	9月5日※	9月7日※	9月18日

注）モデルは庄内平坦（鶴岡市藤島）、移植時の苗の葉数は2.5枚
※：7月28日時点の予測で高温登熟年に該当し積算気温50℃前倒し

2　病害虫対策

① いもち病

葉いもちの発生が例年になく多くなっています。葉いもちの発生している圃場では穂いもちも発生しやすくなります。穂孕期あるいは穂揃期の防除により穂いもちの発生を防ぎましょう（農薬ごとの使用適期を必ず確認）

② 斑点米カメムシ類

カメムシ類の発生も多くなっています。2回の基本防除を徹底しましょう（1回目：穂揃期、2回目：穂揃期の7～10日後）。2回目防除後に水田内で斑点米カメムシ類を確認した場合は、2回目防除の7～10日後に補完防除を行いましょう（農薬の収穫前使用日数と使用回数を必ず確認）

熱中症予防と農作業事故防止のため、定期的に水分と休憩を取りましょう

☑作業は涼しい時間帯に　☑塩分と水分をこまめに補給　☑定期的に休憩を　☑作業は涼しい服装で